

近畿中央胸部疾患センターで画像診断を受けられた男性慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者さまへ
慢性閉塞性肺疾患とサルコペニアの関連性の研究の実施について

近畿中央胸部疾患センターではサルコペニア（加齢筋肉減少症）を促進すると危険因子を明らかにするため、下記に該当する方を対象に研究を行います。

【サルコペニアと COPD】

サルコペニアとは「加齢による筋肉量減少」を意味する言葉ですが、現在は加齢に伴う筋力低下、機能低下をもふくむ概念として使われています。生涯にわたって立ち、歩き続けるように筋肉を維持することが健康な生活につながるため、超高齢化社会を迎えようとする日本ではサルコペニアへの対策が重要な問題となっています。

一方、当院にはタバコによっておこる病気である COPD の多数の患者さんの CT 画像データが蓄積されています。COPD とサルコペニアは病気になる年齢層が重なっているため、胸部 CT 画像の中の筋肉の画像はサルコペニアを研究する貴重なデータとなります。

【調査の対象となる方】

近畿中央胸部疾患センターに受診/入院した COPD 患者さんで 2009（平成 21）年 1 月から 2016（平成 28）年 12 月までの間に当院で胸部 CT を撮った方（約 140 名の方が該当します）。

【調査方法】

サルコペニアを促進させる因子を特定する目的で上記入院期間に作成されたカルテから年齢、性別、体格、血液検査、肺機能検査、治療状況、身体活動性、入院の有無、入院期間に関するデータを使用します。したがって本研究では、COPD 治療の際に必要な検査値などの臨床データ、画像データを抽出するのみで、対象の患者さんから新たな検体の提出を求めたりすることはありません。血液検査データについては数字で記録されている検査値のみが検討対象であり、遺伝情報（DNA）を取り出したり保存したりする操作は行いません。企業から本研究への資金援助は受けません。

【調査に当たって患者さんの負担と利益】

この調査によって、患者さんにおかけする新たな負担はありません。また、患者さんにもたらされる直接の利益はありません。研究結果によって生み出される利益は研究者に帰属します。

【個人情報の保護について】

データは匿名化（連結可能匿名化）し、鍵がかかる部屋の外部接続の無いコンピュータにパスワードを設定し保存します。研究結果は学会や専門誌を通じて発表いたしますが、患者さんが特定されるような形では発表いたしません。研究発表後データは消去し、記憶媒体は物理的破壊後廃棄します。

【この研究の医学的意義】

加齢に伴う筋肉量の減少は個人差が大きいことが知られています。さらに COPD などの慢性疾患はサルコペニアを促進する可能性があるかと報告されています。筋肉量を減少させる危険因子が特定されれば、健康で長生きできるための生活指導が可能になると考えています。

【データ提供を希望されない場合】

研究対象に該当する方でデータ提供を希望されない場合は下記連絡先までご連絡ください。データ提供を拒否されても今後の診療に不利益をこうむることはありません。

【ご不明な点や研究計画の詳細についてお尋ねになりたいことがありましたら、下記事務局までお問い合わせ下さい】。

〒591-8555 堺市北区長曾根町 1180 国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター

内科 佐々木由美子 TEL 072-252-3021 FAX 072-251-1372

* この調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会における厳正な審査・承認をうけて近畿中央胸部疾患センター院長の許可を得て実施しております。